科目名	授業時数	教科書名	副教材名
論理・表現Ⅰ (総進・SG)	2	Vision Quest English Logic and Expression Ⅰ Standard (啓林館)	・総合英語 Vision Quest 3rd Edition (啓林館) ・Vision Quest 論理・表現 Ⅰ workbook standard

１．授業のねらい

・中学校段階で学習した表現を定着・発展させ，自分の考えや伝えたいことを英語で表現できるようにする。
・英語と日本語の表現方法の違いを理解し，自分の考えや伝えたいことを英語で表現できるようにする。

２．授業のすすめ方

・教科書とその準拠 workbook で例文を音読し，表現や文構造などを理解しながら問題を解く。
・この時間では文法事項を確認し文構造の理解を深める。
・教科書や workbook の設問に取り組み，表現や文法などを確認する。
・ICT 機器を活用し，学んだ表現を活用した活動を展開する。

３．学習上の留意点

・教科書と準拠 workbook には書き込まず、2 つをまとめて書く専用のノートを１冊用意する。重要な事項は自分で書留める習慣をつける（適宜，ノート点検を行う）。
・授業時には教科書・準拠 workbook・ノート・総合英語（参考書）・タブレット PC を用意する。
・課題などの提出期限は厳守する。
・授業前の予習を必ず行っておく。設問の英文はすべて写しておく（日本語は必要なし）。
・授業で配信されたプリントや画像，動画等を流用しないようにする。
・基本的に毎週スタディサプリの課題を行い，英文法力の向上を図る。（スタディサプリ English 英語４技能は英 C で）

４．副教材・参考文献

・総合英語 Vision Quest 3rd Edition
・Vision Quest 論理・表現Ⅰ workbook standard
・スタディサプリ

５．評価の視点・テスト・課題等

＜定期考査＞　100 点満点で年に５回実施。
＜平 常 点＞　1 学期 20 点　　2 学期 20 点　　3 学期 10 点
☆平常点の算出方法：小テストの結果，各種課題，授業態度などを総合的に評価する。
＜観点別評価＞　定期考査，平常点等を基に『知識・技能』，『思考・判断・表現』，『主体的に学習に取り組む態度』の３観点について学年末に評価します。

６．定期考査

・教科書，準拠 workbook，ならびにスタディサプリで学習したことを中心に出題する。
・マーク方式での出題を予定。

・１学期中間考査　Lesson 1，2
・１学期期末考査　Lesson 3，4，5
・２学期中間考査　Lesson 6，7
・２学期期末考査　Lesson 8，9，10
・３学期期末考査　Lesson 11，12

※授業の進度により定期考査の試験範囲は変更する場合もある。

７．授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4 5 6 7	中学校既習事項の復習 Lesson 1　文の種類 Lesson 2　文型と動詞 ＜中間考査＞ 中学校既習事項の復習 Lesson 3　時制 Lesson 4　完了形 Lesson 5　助動詞 ＜期末考査＞	・定期考査 ・課題の提出 ・授業態度 ・小テスト	・高等学校での学習方法の定着を図る。 ・中学校既習事項の定着を図り，自ら考えたことを表現できる。 ・学んだ表現を活用し，自ら考えたことを表現できる。
二学期	9 10 11 12	中学校既習事項の復習 Lesson 6　受動態 Lesson 7　不定詞 ＜中間考査＞ 中学校既習事項の復習 Lesson 8　動名詞 Lesson 9　分詞 Lesson 10 関係詞 ＜期末考査＞	・定期考査 ・課題の提出 ・授業態度 ・小テスト	・１学期の成果を振り返り，高等学校での学習方法の定着を図る。 ・中学校既習事項の定着を図り，自ら考えたことを表現できる。 ・学んだ表現を活用して自ら考えたことを表現できる。
三学期	1 2 3	中学校既習事項の復習 Lesson 11　比較 Lesson 12　仮定法 ＜期末考査＞	・定期考査 ・課題の提出 ・授業態度 ・小テスト	・２学期の成果を振り返り，高等学校での学習方法の定着を図る。 ・中学校既習事項の定着を図り，自ら考えたことを表現できる。 ・学んだ表現を活用して自ら考えたことを表現できる。

※シラバスの内容（時間や事項）については，理解度やその他の都合により省略や前後することがあります。